

「de mano(じまあの)」は、牛豚肉を加工する「まあの」が発行するミニコミです。生産地の様子や生産者の声、「まあの」からのお知らせや小村の個人的な関心事などを掲載しています。

「mano」はスペイン語で「手」の意味です。生産と消費が「手」つなぐ肉流通を作り、「手」作業主体の職人の技術で肉を加工するという意を込めています。

まあのから  
de mano  
スペイン語で「mano」は「手」、  
「de」は「～から」という前置詞です。

発行:まあの 【火曜定休】

兵庫県尼崎市戸ノ内町5丁目8-6

☎ 06-6495-2546

📠 06-6495-2900

✉ mano0298@snow.plala.or.jp

HP <https://www.e-sora.net/mano/>

## 「ロース」を減らすためにできること

先号で「ロース問題」をお伝えしました。まあのとして何ができるか、いろいろ考えました。いつもお世話になっている職人さんにも来ていただき、相談しました。あちらの生協でも同じような問題は常にあり、そんな経験を経て今の販売スタイルができていくとのことでした。そこで一つの決断として、「クラシタロース」を「スライスセット」に使ってしまうことを決めました。「クラシタロース」というパーツはロース系3パーツの中で一番大きいものです。写真の牛の場合「クラシタ」が21.9 kg、「リブロース」が10.2 kg、「サーロイン」が12.8 kgでした。「ク



### 左から、「クラシタ」「リブロース」「サーロイン」

ラシタ」を「スライスセット」に混ぜれば、ロース系の材料が大幅に減り、「スライスセット」の品質がぐっと上がります。もちろんまあの利益率はぐんと下がるでしょうが、売れないものを抱えているだけでは自滅するしかありません。

今まで「スライスセット」の“カブセ”(一番上に載せる部位)には主に「ウデ」「マル」を使ってきましたが、これからは「クラシタロース」が載ることが多くなると思います。「スライスセット」に使うそのほかの材料は、今まで通り「ウチヒラ」「ソトヒラ」「マエバラ」などになります。「ローススライス」というアイテムは主に「リブロース」で作ることになります。消費者の皆さんには以上の点をご理解いただきたいと思います。まだまだ試行錯誤が続くでし

ようが、どうぞお付き合いください。そしてロースも時々食べて下さいね。

## お寒い4月でした

### 希望農場5月・農場たより 清野光弘

今年北海道では4月に寒さと雨の日が多く、農家の方が困っていました。気温が15℃を下回る日が多く、さらに雨ばかりで農作物の生育が悪く、またその質も悪く二重苦と嘆いていました。5月に入り、やっと晴れて暖かな日が続くようになり一安心といったところです。

厚真町も同様でした。ただ、私にとっては少しだけ嬉しいことでした。なぜなら、ここ最近は暖かな年が続いていて、桜の見ごろがゴールデンウィーク前になってしまって、花見のときには葉桜になっていたからです。今年の5月6日、20℃を超える暖かな日に従業員たちを呼んで、桜の花の下で恒例のジンギスカンを食べ、ビールを飲むことができました。大阪万博が始まり、多くの人たちが訪れているようです。私は残念ながら万博には行けませんが、テレビでその映像を観て楽しむことにします。

また、お米の値段は備蓄米が放出されたのに下がることがなく、家計に響いています。何とかならないものでしょうか。

世界を見ると、トランプ大統領になって相互関税が発令されて、困っている国が多いようです。日本も同様で、車、鉄鋼製品など関税が上がり、輸出に多大な影響が出るようです。

さて、放牧豚たちは人間の世界の物が値上がりしていることをよそに、温かくなってきた気候がうれしいのか元気に農場を走り回って、モリモリと飼料を食べ、水を飲んでおります。その姿を見るとホッとした気持ちになります。

皆様もお体には十分お気を付けください。私たちも健康で働き皆様に美味しいお肉をお届けいたします。

## 大鹿村へ 避暑にどうぞ

8月23日(土)24日(日)に大鹿村に行きます。まだまだ暑いでしょうし、ゆっくり涼んでください。土曜日は主に、牛の生産者や牛たちと過ごしたいと思います。日曜日は、相変わらず進んでいるリニア工事の現状を、主に青木連さんに案内していただきます。大鹿村を離れて帰りの途中で大鹿村のお隣の喬木村に寄ります。ここはリニアが地上を走るの、巨大な高架橋が造られつつあります。これを見学したいと思います。



喬木村 リニア橋脚

参加ご希望の方は、まあのまでご連絡ください。」

## 山の記録

うしぶせやま  
牛臥山・海上山(鳥取県智頭町) 5月28日

先月に続き智頭町。今度は籠山の川向こうの山。登山口の表示がなく、ちょうど通学時間で誘導員の方に尋ねて、登山口への林道を教えてもらいます。林道を結構走って牛臥公園の駐車場です。ここが登山口になります。電波塔、トイレのある広場で10台以上止められそうです。車を木陰において、歩き始めます。広い道が続き、落ち葉が敷き詰められて歩きやすいのですが、所々急傾斜になり、爪先立って登りました。設備はかなり古いですが、主な標識はしっかりしています。テープも古く少ないですが、何とか迷わずいけます。50分足らずで牛臥山頂上です。広場になっていて石碑もあります。因美線が智頭駅まで開通した年に智頭駅から見た山並みが「巨大な種牛に似たるが如し」と、命名されたそうです。続いてその先の海上山へ。何度かアップダウ

ンがあり、落ち葉道で踏み跡がわからず、テープだけが頼りです。30分ほどで割とあっけなく海上山頂上です。ここの標識は新しくきれいです。引き返しますが、下りで尾根が分かれるところでテープが見当たらず、来た道に戻るだけといっても迷います。いつの間にか牛臥山に戻っていました。そのまま下山して車まで戻ると、電波塔の周りに車が3台、4、5人で作業中です。車にいた人に聞くと、前の塗装が剥げてくると有害物質が出てくるので、塗装しなおしているのだとか。この電波塔のメンテもあり、舗装道路がここまで来ているのですね。

次の用瀬<sup>もちがせ</sup>アルプスコース下見でR53を北上して洗足山に登る鳥居野登山口を探します。国道沿いの家で尋ねると丁寧に教えてくれました。「私は登ったことないけど…」。登山口まで来ると、車はとともおけません。自転車でしょうどいい感じです。チャリデポで登るつもりです。



## ニクヤノツブヤキ

- ◇ 牛枝肉をカットしてパーツ肉にしている加工場が、カット代の値上げを通知してきました。枝キロ当たり110円→230円！ 現況からやむなし、けどあまりにも大きい。(幸治)
- ◇ 私は左足に人工股関節を入れる手術をしてリハビリ中です。経過は順調ですが、脱臼しないよう、転倒しないよう気をつけてます。(幸子)